



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月23日

上場会社名 株式会社両毛システムズ 上場取引所 東  
コード番号 9691 URL <https://www.ryomo.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北澤 直来  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 上山 和則 (TEL) 0277 - 53 - 3131  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	3,923	1.3	165	△58.9	152	△62.1	69	△73.2
2024年3月期第1四半期	3,874	7.5	403	149.3	402	158.3	259	138.7

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 95百万円(△67.7%) 2024年3月期第1四半期 295百万円(180.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2025年3月期第1四半期	円 銭 19.88	円 銭 —
2024年3月期第1四半期	74.22	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年3月期第1四半期	百万円 22,819	百万円 12,317	% 54.0
2024年3月期	21,840	12,291	56.3

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 12,317百万円 2024年3月期 12,291百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 17.00	円 銭 —	円 銭 20.00	円 銭 37.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,570	2.2	500	△40.1	470	△43.3	300	△47.9	85.75
通期	19,000	4.6	1,600	△13.5	1,500	△19.3	1,000	5.8	285.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	3,510,000株	2024年3月期	3,510,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	11,358株	2024年3月期	11,358株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	3,498,642株	2024年3月期1Q	3,498,732株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資には持ち直しの動きがみられ、企業収益も総じて改善されるなど、景気に緩やかな回復基調が見受けられました。しかしながら、円安を背景とした原材料やエネルギー価格をはじめとした諸物価の上昇、地政学リスクへの警戒など、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社及び連結子会社（以下、当社グループ）では、10次中期経営計画2年目を迎え、「RSビジョン」実現に向け、重点施策として「強化・拡大」、「変革・成長」、「構造改革」に取り組み、公共分野及び民間分野とも受注拡大、製品・サービス強化、ならびに収益構造の改善に取り組んでまいりました。また、ICTソリューションを通じて社会課題の解決に取り組み、地域や社会の進化・発展に貢献するための活動を実施してまいりました。

「強化・拡大」では、公共分野において、自治体・警察向けソリューションビジネスの拡大に取り組んでまいりました。民間分野では、エネルギー事業において、大型SI案件に取り組むほか、モビリティ（組込）事業においては、企業の業界構造の変化に伴う積極的な投資を背景に受注拡大に努めてまいりました。また、両分野において、クラウドサービス拡大に取り組んでまいりました。

「変革・成長」では、民間分野において、製造業のお客さま向けのDX支援としてAMOサービス<sup>※1</sup>の強化に取り組んでまいりました。

「構造改革」では、将来の事業拡大に備え、先行投資として新たに両毛システムズデータセンター（以下、RSDC）を稼働したこと等により、減価償却費が増加いたしました。データセンターを活用したクラウド利用料ビジネスの拡大等の取り組みにより、収益が平準化され、安定した収益確保に貢献いたしました。

その結果、売上高は3,923百万円（前年同期比1.3%増）、材料費及び人件費の増加や新規稼働したRSDCの減価償却費の増加等により営業利益は165百万円（前年同期比58.9%減）、経常利益は152百万円（前年同期比62.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は69百万円（前年同期比73.2%減）となりました。

※1 AMO(Application Management Outsourcing)サービス：お客さまの業務システムを企画・設計から運用・保守までのシステムライフサイクルを通してサポートするサービス

セグメントごとの業績は、以下のとおりです。

## (公共事業セグメント)

公共事業セグメントは、警察向けのシステム販売によるソフトウェア開発・システム販売分野、学校向けのICT機器販売によるシステム機器・プロダクト関連販売分野が堅調に推移したほか、クラウドサービスやグループの総合力を活かしたアウトソーシング・サービスによる情報処理サービス分野が堅調に推移したこと等が売り上げ、利益に貢献いたしました。一方で、新規稼働したRSDCの減価償却費の増加等により、利益が減少いたしました。

その結果、売上高は1,846百万円（前年同期比1.3%増）、セグメント利益は315百万円（前年同期比12.1%減）となりました。

## (社会・産業事業セグメント)

社会・産業事業セグメントは、車載系組込ソフトウェア開発支援業務や製造業向けAMOサービスなどのITエンジニアリングサービスのシステム販売が堅調に推移したこと等により、ソフトウェア開発・システム販売分野が堅調に推移し、売り上げ、利益に貢献いたしました。一方で、新規稼働したRSDCの減価償却費の増加等により利益が減少いたしました。

その結果、売上高は2,076百万円（前年同期比1.2%増）、セグメント利益は345百万円（前年同期比30.2%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 財政状態に関する分析

## (資産・負債・純資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は22,819百万円（前連結会計年度末21,840百万円）となり、979百万円増加しました。流動資産は1,198百万円増加し、11,741百万円となりました。固定資産は219百万円減少し、11,078百万円となりました。

流動資産の増加要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が2,239百万円減少しましたが、現金及び預金が2,522百万円、棚卸資産が630百万円それぞれ増加したこと等によるものです。固定資産の減少要因は、無形固定資産が229百万円増加しましたが、有形固定資産が524百万円減少したこと等によるものです。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は10,502百万円（前連結会計年度末9,548百万円）となり、954百万円増加しました。流動負債は201百万円増加し、8,331百万円となりました。固定負債は752百万円増加し、2,171百万円となりました。

流動負債の増加要因は、未払金が178百万円減少しましたが、賞与引当金が374百万円増加したこと等によるものです。固定負債の増加要因は、リース債務が733百万円増加したこと等によるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は12,317百万円（前連結会計年度末12,291百万円）となり、25百万円増加しました。これは主に、その他有価証券評価差額金が27百万円増加したこと等によるものです。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2,522百万円増加し、6,042百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1,624百万円（前年同期は1,279百万円）となりました。この主な要因は、棚卸資産が増加したことにより630百万円の資金の減少がありましたが、売上債権が減少したことにより2,217百万円の資金の増加があったこと等によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、74百万円（前年同期は1,081百万円）となりました。この主な要因は、投資その他の資産が増加したことにより33百万円の資金の減少があったこと等によるものです。

営業活動及び投資活動によるキャッシュ・フローをあわせたフリー・キャッシュ・フローは1,550百万円の増加（前年同期は197百万円）となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、966百万円（前年同期は512百万円）となりました。この主な要因は、セール・アンド・リースバックによる収入1,173百万円の資金の増加等があったこと等によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、現時点で2024年5月9日に開示した内容に修正はありません。

上記連結業績予想は、現在において入手可能な情報及び仮定に基づいて判断したものであり、予想に内在する不確定要素や今後の事業運営における内外状況の変化により、実際の業績数値が予想の数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,700,636	6,222,742
受取手形、売掛金及び契約資産	4,620,300	2,380,743
リース投資資産	703,644	618,757
棚卸資産	※1 536,648	※1 1,167,174
その他	981,778	1,352,478
貸倒引当金	△406	△301
流動資産合計	10,542,602	11,741,595
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,223,360	7,457,654
減価償却累計額	△3,215,020	△3,298,974
建物及び構築物(純額)	1,008,340	4,158,680
建設仮勘定	4,533,240	19,837
その他	1,579,792	2,418,473
有形固定資産合計	7,121,372	6,596,991
無形固定資産		
ソフトウェア	276,087	279,009
ソフトウェア仮勘定	34,508	33,781
その他	743,004	970,473
無形固定資産合計	1,053,601	1,283,264
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	2,304,290	2,342,516
その他	818,373	855,541
貸倒引当金	△41	△41
投資その他の資産合計	3,122,622	3,198,016
固定資産合計	11,297,596	11,078,273
資産合計	21,840,198	22,819,868

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	624,009	701,151
1年内返済予定の長期借入金	3,500,000	3,500,000
未払金	826,306	648,192
未払法人税等	249,969	90,660
賞与引当金	850,004	1,224,238
役員賞与引当金	8,818	14,238
受注損失引当金	190,286	127,939
訴訟損失引当金	566,458	572,464
その他	1,313,766	1,452,588
流動負債合計	8,129,620	8,331,472
固定負債		
リース債務	1,131,922	1,864,975
退職給付に係る負債	3,035	3,102
資産除去債務	145,000	145,000
その他	138,973	158,293
固定負債合計	1,418,931	2,171,371
負債合計	9,548,552	10,502,843
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,966,900	1,966,900
資本剰余金	2,453,650	2,453,650
利益剰余金	7,648,539	7,648,125
自己株式	△9,184	△9,184
株主資本合計	12,059,905	12,059,490
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	131,190	158,277
為替換算調整勘定	8,738	9,317
退職給付に係る調整累計額	91,811	89,939
その他の包括利益累計額合計	231,741	257,534
純資産合計	12,291,646	12,317,025
負債純資産合計	21,840,198	22,819,868

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	3,874,433	3,923,338
売上原価	2,723,712	2,981,388
売上総利益	1,150,720	941,949
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	243,729	252,119
賞与引当金繰入額	89,013	87,210
役員賞与引当金繰入額	178	5,419
退職給付費用	6,457	2,250
その他	408,305	429,239
販売費及び一般管理費合計	747,684	776,239
営業利益	403,035	165,710
営業外収益		
受取利息	431	177
受取配当金	3,289	5,613
受取賃貸料	1,965	1,991
転リース差益	2,008	1,857
その他	1,344	2,439
営業外収益合計	9,039	12,079
営業外費用		
支払利息	7,121	21,205
賃貸収入原価	250	386
為替差損	1,294	-
その他	1,041	3,761
営業外費用合計	9,709	25,352
経常利益	402,365	152,437
特別損失		
固定資産除却損	4	61
投資有価証券売却損	-	11
訴訟損失引当金繰入額	-	6,005
特別損失合計	4	6,078
税金等調整前四半期純利益	402,360	146,359
法人税等	142,688	76,800
四半期純利益	259,672	69,558
親会社株主に帰属する四半期純利益	259,672	69,558

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	259,672	69,558
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,976	27,086
為替換算調整勘定	12,000	578
退職給付に係る調整額	2,982	△1,872
その他の包括利益合計	35,958	25,792
四半期包括利益	295,630	95,351
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	295,630	95,351

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	402,360	146,359
減価償却費	105,064	220,698
無形固定資産償却費	94,760	102,036
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△23,888	△24,902
賞与引当金の増減額 (△は減少)	359,060	373,972
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	178	5,419
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△1,090	△62,347
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△95	△104
訴訟損失引当金の増減額 (△は減少)	-	6,005
受取利息及び受取配当金	△3,720	△5,791
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	11
支払利息	7,121	21,205
固定資産除却損	4	61
売上債権の増減額 (△は増加)	1,674,236	2,217,154
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△390,658	△630,526
リース投資資産の増減額 (△は増加)	39,094	84,886
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	8,473	△289,887
仕入債務の増減額 (△は減少)	△485,473	△195,842
未払費用の増減額 (△は減少)	66,018	62,158
リース債務の増減額 (△は減少)	△51,984	△164,912
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△119,782	△11,558
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△103	△189
その他	△1,382	△7,282
小計	1,678,193	1,846,624
利息及び配当金の受取額	3,719	5,790
利息の支払額	△7,127	△21,258
法人税等の支払額	△395,770	△206,696
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,279,015	1,624,459
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△30	△29
投資有価証券の売却による収入	-	1,730
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△24,993	△33,515
有形固定資産の取得による支出	△1,048,390	△22,243
無形固定資産の取得による支出	△8,418	△20,080
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,081,832	△74,138
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	635,000	-
リース債務の返済による支出	△80,141	△137,189
セール・アンド・リースバックによる収入	32,172	1,173,797
配当金の支払額	△74,842	△69,623
財務活動によるキャッシュ・フロー	512,187	966,984
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,297	4,799
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	718,668	2,522,105
現金及び現金同等物の期首残高	4,528,310	3,520,636
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,246,979	6,042,742

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

※1 棚卸資産の内訳は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
仕掛品	520,014千円	1,144,753千円
原材料及び貯蔵品	16,633	22,421

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	公共事業	社会・産業事業			
売上高					
ソフトウェア開発・システム販売	233,844	1,186,853	1,420,697	—	1,420,697
情報処理サービス	1,405,861	660,804	2,066,665	—	2,066,665
システム機器・プロダクト関連販売	174,883	197,575	372,458	—	372,458
その他の情報サービス	7,813	6,798	14,611	—	14,611
顧客との契約から生じる収益	1,822,401	2,052,031	3,874,433	—	3,874,433
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,822,401	2,052,031	3,874,433	—	3,874,433
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,822,401	2,052,031	3,874,433	—	3,874,433
セグメント利益	358,480	495,031	853,512	△450,476	403,035

(注) 1. セグメント利益の調整額△450,476千円には、各報告セグメントに配分していない製造補助部門費△51,829千円及び全社費用△398,647千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	公共事業	社会・産業事業			
売上高					
ソフトウェア開発・システム販売	184,329	1,180,386	1,364,716	—	1,364,716
情報処理サービス	1,477,654	691,572	2,169,226	—	2,169,226
システム機器・プロダクト関連販売	170,962	199,976	370,938	—	370,938
その他の情報サービス	13,935	4,520	18,456	—	18,456
顧客との契約から生じる収益	1,846,882	2,076,456	3,923,338	—	3,923,338
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,846,882	2,076,456	3,923,338	—	3,923,338
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,846,882	2,076,456	3,923,338	—	3,923,338
セグメント利益	315,073	345,333	660,407	△494,696	165,710

(注) 1. セグメント利益の調整額△494,696千円には、各報告セグメントに配分していない製造補助部門費△43,226千円及び全社費用△451,470千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。